

Concert Series
珠玉のリサイタル&室内楽



三村奈々恵©Yoshinori Kurosawa

三村奈々恵 マリンバ&ビブラフォン・リサイタル

Resonance Journey —響きがつなぐ、時代とジャンルを超える音の旅—

クリスタルのように七色の響きを放つ、感性豊かなマリンバ奏者・三村奈々恵が贈る、マリンバとビブラフォンが織りなす色彩豊かな音の世界！
木のぬくもりを宿すマリンバと、透明感あふれる輝きを放つビブラフォン。ジャンルレスなレパートリーと卓越した技術で、二つの楽器が秘める新たな魅力を引き出し、世界を舞台に活躍し続ける三村奈々恵。

ヨーロッパで絶大な人気を誇るルドヴィコ・エイナウディの代表作や、世界が注目する作曲家アンディ・アキホによる革新的な作品をはじめ、伝統的なクラシック音楽を背景に発展・進化した“次世代クラシック音楽”、民族音楽のエッセンスやピアソラに着想を得た作品、さらにはジャズに至るまで、意欲的なプログラムで、ジャンルを超え、多彩な音の風景を描きます。

共演には、ジャズをベースに国内外で幅広く活躍するピアニスト・林正樹を迎え、繊細な響きと心躍るグルーブ感あふれるステージをお届けします。

響き豊かなヤマハホールで、七色に表情を変えるマリンバとビブラフォンが描く、時代とジャンルを超える音の旅をお楽しみください。

三村奈々恵(マリンバ&ビブラフォン)

林 正樹(ピアノ)

L.エイナウディ (三村奈々恵編) / 翼を広げて (Fly)

A.ゲラシメス/ピアソノーレ

A.アキホ/カラクレナイ

K.ジェンキンス (三村奈々恵編) / ヒム (静寂)

エンヤ (三村奈々恵編) / オンリー・タイム&カリビアン・ブルー

J.ササノ/アタランタ

R.アルドリッジ / 「フロム・マイ・リトル・アイランド」より “賛美歌” “ダンス・オブ・パッション” “フォークソング”

A.アキホ/mARImbA

S.スノーデン/ロング・ディスタンス より “Monroe, NC-1977” “Brooklyn, NY-1975”

K.スクパワ/ストロベリー・セラピー

2027/ **3/13** (土) 17:00開演(16:30開場)

ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

2026/9/5(土)前売開始

チケット料金(全席指定)

一般 **4,500円** 学生 **3,500円**

チケット取扱い

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> [Pコード:335-355]

ヤマハ銀座店インフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

主催/ヤマハ株式会社

※都合により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※チケット料金には消費税が含まれております。

お問合せ ヤマハ銀座店インフォメーション **03-3572-3171** (11:00~18:30/火曜定休・但し臨時休業有) ※お電話でのチケットのご予約は承っておりません。

三村奈々恵 マリンバ&ビブラフォン・リサイタル

Resonance Journey —響きがつなぐ、時代とジャンルを超える音の旅—

三村奈々恵 Nanae Mimura (マリンバ&ビブラフォン)

国立音楽大学打楽器専攻を首席(武岡賞)で卒業。ボストン音楽院にて修士号を取得し、パークリー音楽院で講師を務める。学生時代より数々の国際コンクールで優勝を重ね、カーネギー・ホールでデビュー・リサイタルが開催された。これまでに世界22カ国以上から招聘され演奏活動を行っている。クラシックからポップス、民族音楽まで、ジャンルを超えて幅広く演奏活動を行い、デジタル配信を含むアルバムを5枚リリースしている。近年では、リスト音楽祭(オーストリア)に招聘され、オープニングコンサートに出演。また作曲家吉松隆氏にマリンバ協奏曲を委嘱し、2010年京都市交響楽団と世界初演、その後、山形交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本センチュリー交響楽団と再演した。

これまでにウィーン国立音楽大学、アムステルダム音楽院、ボストン音楽院等各国の大学やフェスティバルに招聘され後進の指導にも積極的に力を注いでいる。また、ドイツマリンバ協会主催国際マリンバ・コンクールをはじめ、イタリア、ベルギー、アメリカ、メキシコ、タイ、中国、台湾、日本で開催されたコンクールにおいて審査員を務める。

アメリカ・アンコール社より三村奈々恵モデルのマレットが開発・発売されている。ヤマハアーティスト。昭和音楽大学大学院、同大学、同短期大学部非常勤講師。平成音楽大学、JBG音楽院講師。

三村奈々恵 オフィシャル・ウェブサイト <https://www.nanaemimura.com/>

Message

木のぬくもりを湛えたマリンバと、金属ならではの透明感を持つビブラフォン。どちらも「鍵盤打楽器」に分類される楽器ですが、その歴史や構造、奏法、そして生み出される響きは大きく異なります。

マリンバが奏でるのは、森や大地を思わせるあたたかく豊かな深い響き。一方、ビブラフォンは、夜空や水面を映すような透明感と、まるでやかた艶やかな金属の響きが魅力です。

今回はそれぞれの個性が美しく映える耳心地の良い作品を、さまざまなジャンルから厳選しました。

プログラムには、心を穏やかに包み込むヒーリング・ミュージックをはじめ、民族音楽やジャズのエッセンスを取り入れた作品、さらに欧米を中心に発展を続けるエレクトロニクスとアコースティックが融合した最先端の音楽——「次世代クラシック」の作品まで、多彩なレパートリーをご用意しました。ピアニスト・林正樹さんとの共演で、豊かな音楽の世界をお届けいたします。

ジャンルを超えて響き合う音楽を通して、マリンバとビブラフォンそれぞれの魅力、その奥深い表現力や豊かな可能性をより身近に感じていただけることと思います。

「普段あまり生の演奏に触れる機会がない」という方にも、肩の力を抜いて

楽しんでいただけるプログラムです。

木と金属が織りなす、多彩で美しい響きの世界をぜひ会場でご体感ください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



三村奈々恵



林 正樹 Masaki Hayashi (ピアノ)

ピアニスト、作曲家。自作曲を中心とするソロでの演奏や、「林正樹グループ」「間を奏でる」などの自己のプロジェクトの他、小野リサ、椎名林檎、マレー飛鳥、藤本一馬、徳澤青弦など様々な音楽家とアコースティックな演奏活動を行なっている。

「Banksia Trio」「菊地成孔とベベ・トルメント・アスカール」などのグループにも在籍中。

多種多様な音楽的要素を内包した、独自の諧謔を孕んだ詩的なソングライティングと繊細な演奏が高度で融合するスタイルは、国内外で高い評価を獲得している。

作曲家としても2021年公開の映画『すばらしき世界』(監督、脚本：西川美和、主演：役所広司)の音楽を担当し、第76回毎日映画コンクール音楽賞を受賞。2026年12月公開の映画『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』の音楽を岩崎太整と共に担当。

最新リリース作品は2026年8月発表の『B/徳澤青弦×林正樹』。



ヤマハホール YAMAHA HALL

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14
03-3572-3139(10:00~18:00/ 平日のみ)

<https://retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza/hall>

- 東京メトロ銀座線/丸ノ内線/日比谷線「銀座」駅A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公式 Facebookページ
<https://www.facebook.com/yamahahall>



「いいね!」ボタンの
クリックをお願いします。



YAMAHA

Make Waves